

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第4部門第1区分

【発行日】平成18年10月12日(2006.10.12)

【公開番号】特開2005-213981(P2005-213981A)

【公開日】平成17年8月11日(2005.8.11)

【年通号数】公開・登録公報2005-031

【出願番号】特願2004-25733(P2004-25733)

【国際特許分類】

E 04 D 5/10 (2006.01)

E 04 D 11/02 (2006.01)

【F I】

E 04 D 5/10 A

E 04 D 11/02 B

【手続補正書】

【提出日】平成18年8月24日(2006.8.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

ワックスとしては、原料ルーツ的な表現でみて、石油ワックスでもよいし、合成ワックスでもよいが、とくに合成ワックスが好ましい。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0032

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0032】

本発明の溶融した防水工事用アスファルト組成物を所望の温度に保持した保温タンクから取り出し、被防水面に流しながら、防水シートとくに好ましくはアスファルトルーフィングシートを貼り付ける。通常これを複数回繰り返して複数の防水層を形成する。また、本発明の溶融した防水工事用アスファルト組成物を所望の温度に保持した保温タンクから取り出し、これを防水シート好ましくはアスファルトルーフィングシートのオーバーラップ部分に適用し、その部分をシールする。これらの工法はいずれも防水熱工法と呼ばれる範ちゅうに属するものである。